

ニュージーランドの高校生訪問－4・5年次交流－

◆今号の記事は、担当の二宮先生（5年次副主任・英語担当）に書いていただきました。

4月14日（金）、ニュージーランドのパーマストンノース市にあるアワタブ高校から、18人のお客さんが見えました。生徒16人と引率の先生2人です。アワタブ高校は、毎年夏の「NZ語学研修」（4年次の希望者対象）の時に、本校の生徒が10日間お世話になる現地高校の1つです。アワタブ高校には選択で「日本語クラス」もあり、今回の訪問は、日本語選択者の中での希望者による「日本ツアー」の一部です。2週間の日程の中で、茨城・東京だけでなく**広島方面**も訪れるそうです。

本校では、まず4時間目に、調理室で「**日本食クッキング**」を体験してもらいました。5年次生の「**並木生バディ**」と一緒に、**ちらしずし**とお吸い物、フルーツ白玉を作り、皆美味しそうに平らげていました。5時間目は、今年の夏に「NZ語学研修」を控えている4年次生と共に「**異文化交流の授業**」を実施し、6時間目は5年次生と共にゲームや小グループでの「**会話タイム**」を楽しみました。またバディのクラスでHRや掃除も体験し、放課後は「**茶道部と剣道部**」に参加して、**日本文化**を体験してもらいました。

短い時間でしたが、本校の生徒もアワタブ高校の生徒も、本当に楽しく充実した時間を持つことができたようです。英語と日本語が飛び交い、身振り手振りも交えながら、**笑顔で積極的に交流する様子**が印象的でした。

昨年夏の語学研修でのNZバディと**再会**できた5年次生がいたり、今年の夏の再開を約束している4年次生もいて、1回きりの交流ではなく、何年にもわたって続いている**交流の楽しさ**を感じさせてくれた訪問でした。

